

交付金事業に付随する重要業績評価指標(KPI)の評価総括表【デジタル田園都市国家構想交付金】

交付金タイプ	事業名	事業の概要・目的	シートNo.	R4年度実績額(円)	R4年度国費充当額(円)	事業期間	KPI	従前値	R4目標値	R4実績値	(単位)	達成度	達成度評価	評価平均	KPI進捗評価	R4年度実施内容(特記事項)	特記事項評価	総合評価
									【対前年度増加分】									
地方創生推進タイプ	持続可能な地域づくりに向けた地域資源マネタイズプロジェクト	1. ネットワーク組成: 周辺市街地において、意欲ある者が自らの能力を活かし、地域経済に貢献・チャレンジできる環境を整備するために、周辺市街地に関する様々なプレイヤーが共通の目的・意識を持ち、「2. チャレンジエリア形成」に向けた業務を実施できるように、リソースを持ち寄る「R8ネットワーク」を組成する。 2. チャレンジエリア形成: 8つの周辺市街地から一部地域を選定の上、その中心部にチャレンジエリアを設定し、個性的な新規事業者の誘致、チャレンジジョブ、空き地を活用したマーケット、キッチンカーなどの多様な出店形態を用意し、既存店舗との相乗効果や地域住民との接点を提供するなど、地域経済に参画しやすい環境を整備していく。 3. 稼げる地域づくりの加速化: 地域活性化協議会やコンベ採択者の「稼ぐ力」への意識改革のために、資金調達ノウハウや事業計画策定のためのセミナー・勉強会の開催、個別具体的な相談に対応する伴走型支援を行っていく。また、活性化協議会設立までのプロセスをブラッシュアップし、周辺市街地近隣地域のコミュニティへの波及を図る。 4. 多様な人材の参画: 活性化協議会の持続化のためには、若年層等(学生、子育て世代や女性)といった多様な人材の参画が不可欠であり、それら次世代を担う人材が協議会活動に参加する契機となる「(仮称)地域人材発掘コンテスト」を開催し、受賞者と活性化協議会との継続的な関係性の構築を図る。	①	20,198,873	10,099,436	令和3年4月～令和6年3月	ネットワーク組織に関連した新規の事業収入	0	4,000	3,955	千円	98.9%	5	8.8	B	・ ネットワーク組織に関連した新規の事業収入については、各活性化協議会の自主事業(マルシェの出店料、フリーペーパーの広告収入)やチャレンジジョブの出店により、新たな収入を得るスキームを構築した。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、中止になったイベントもあり目標に僅かに及ばなかった。 ・ チャレンジジョブ入居者及び対象エリアでの開業件数については、内覧会の実施やチラシの配布等により、目標であった3件の開業を達成した。 ・ 専門家による自走化の支援件数については、各活性化協議会の代表者を集めて、専門家による地域振興に関する講演等を行った。 ・ コンテストの開催等を通じた地域づくりへの新たな人材の参画者数については、コンテストの内容を見直し、より多くの人材が地域づくり活動に参画できるように、応募者同士でチームを結成し、アイデアの実践に挑戦する方式に変更したことで、目標値を大幅に上回る実績となった。	イ: 据置き	B
							チャレンジジョブ入居者及び対象エリアでの開業件数	0	2	3	件	150.0%	10					
							専門家による自走化の支援件数	0	2	2	件	100.0%	10					
							コンテストの開催等を通じた地域づくりへの新たな人材の参画者数	0	6	47	人	783.3%	10					
地方創生推進タイプ	自転車利用推進による三密を回避したつくば市内及び近隣自治体間との回遊性向上促進事業	1. シェアサイクル事業: つくばエクスプレスつくば駅及び研究学園駅を中心とした約2km圏域内に20箇所程度のサイクルポートと50台程度の自転車を設置し、スマホアプリで利用可能なシステムを備えたシェアサイクル事業を展開する。特に、バス停の半径500m圏外(≒バスサービスの空白地域)に重点的に配置し、既存の公共交通網を補完する。また、つくば駅周辺の中心市街地における回遊性を向上し、活性化に寄与する。 2. レンタサイクル事業: レンタサイクルを、つくば駅(30台)と、筑波山麓バスターミナル「筑波山口」(18台)に設置し、来訪者へ移動手段として提供し、地域活性化を実現する。 3. 茨城県広域レンタサイクル事業: 茨城県、沿線自治体、沿線民間企業等で構成する「つくば霞ヶ浦りんりんロード利用推進協議会」では、乗り捨て可能な広域レンタサイクル事業(令和2年度: つくば市を含む9市11施設、113台)を平成29年度から開始している。つくば市では、この広域レンタサイクルをベースとして、広域サイクルツーリズム事業を立ち上げていくことで周辺市街地の活性化を推進する。 4. HPI「つくば市サイクリングガイド」の運営: つくば市のサイクリング情報(コース、休憩施設、飲食店情報等)、自転車整備や修理ができるポイント(自転車店、いばらきサイクルサポートステーション等)や自転車に関するトピック等を総合的に発信することで、自転車利用を促進する。 5. 弱虫ペダルサイクリングチームとの連携に基づく事業: 令和3年に連携協定を締結した「弱虫ペダルサイクリングチーム」の意匠活用したバスラッピングをつくばコミュニティバス「つくバス」に施し、自転車利用の推進と安全利用の啓発活動を行う。	②	8,058,826	4,029,413	令和3年4月～令和6年3月	自転車利用者数	1,259,000	45,000	184,040	人	409.0%	10	5.0	C	・ シェアサイクル事業においては、サイクルポートを2か所増設し、1か所移設した。リピーターの増加や広報の継続により、事業の周知が進み、目標を大幅に超え前年度比約18万人増の実績となった。 ・ レンタサイクル利用者数の目標数未達は、同一エリアでシェアサイクル事業を実施していることから、レンタサイクル利用者の一部がシェアサイクル利用へ転換したことによるものと推測される。 ・ HPAアクセスの減少については、Instagramフォトコンテスト等のコンテンツの閲覧数が減少したことによるものと推定される。	イ: 据置き	C
							シェアサイクル事業稼働率	0	14	54.14	%	386.7%	10					
							レンタサイクル事業稼働率	23	4	-0.30	%	-7.5%	0					
							HPI「つくば市サイクリングガイド」へのアクセス数	102,000	7,000	-18,886	回	-269.8%	0					
地方創生推進タイプ	市民中心のSociety5.0社会推進事業	市民中心のSociety5.0社会に向け、科学分野のヒト(研究者)・コト(研究成果)・モノ(研究機関)の集積と、スタートアップが活発であるという本市の強みをいかし、あらゆる未来技術の社会実装を目指す。これを通じて地域課題の解決を図るイノベーション・エコシステムを構築し、新産業・サービスが次々と生まれるまちを実現する。 1. 科学技術・イノベーション振興指針の策定: 本指針に市民意見を反映するため、開発事業者と本市が共同で昨年度まで実証実験を重ねてきた未来技術「インターネット投票システム」を、意見収集ツールとしての応用性の検証を兼ねて活用する。 2. 地域課題解決型未来技術実証実験支援: 市内大学・研究機関を含む全国から地域課題の解決に繋がる未来技術を公募し、優れた提案を採択。課題解決の可能性を検証するために、実証実験の費用負担、公共施設をはじめとする実証フィールドの提供、市民モニター確保その他の各種支援を行う。 3. 未来技術の社会実装に向けた市場・市民向けニーズ調査: 市域で実証した未来技術を市民や市内事業所に試してもらうホームユーステストにより、その市場性を評価するとともに、未来技術の質の改善・向上を図る。 4. 研究成果の商用化支援のための公共調達モデル構築: 公共調達により行政が未来技術の最初の「買い手」となり、地域への導入事例を作ること、市場化を加速させ、販路拡大を促すことが有効であることから、市域で実証した未来技術を素材に公共調達モデル構築のケーススタディを実施する。 5 データ利活用支援: Soccity5.0社会の実現に必要なデータ利活用を進めるため、課題解決の可能性を検証した未来技術事業者によるデータプラットフォームの活用を支援する。	③	7,089,167	3,544,583	令和3年4月～令和6年3月	地域課題解決型未来技術実証実験の支援により社会実装(実用化)に至った件数	0	2	2	件	100.0%	10	6.5	C	・ 全国各地からの提案15件のうち、専属助産師による妊婦の身体づくりについてオンラインで伴走サポートするサービス等、5件の実証実験を採択及び支援した。 ・ 実証実験期間が短期的になつてしまう課題があったが、事業設計を見直し、実証実験開始を早めることに繋がった。 ・ 過年度案件のフォローアップ調査を実施(25社中21社からアンケート回答)。改善点、実証実験時にあるとよい支援、規制緩和が必要なことなどの意見を得ることができた。 ・ 新規創業においては、社会実装トライアルのほか、起業・経営に関する専門的な情報提供・相談対応や意欲醸成のためのイベント・セミナーの実施、コワーキングスペースの提供、エコシステム構築等の支援を行った。	イ: 据置き	C
							新規創業数	33	17	10	件	58.8%	3					
							移動スーパー 一か所あたりの月ごと平均利用者数	26.2	1	2	人/月	200.0%	10					
地方創生推進タイプ	移動の自由と安心安全で自立した生活を支えるSociety 5.0推進事業	「都市と郊外の二極化」や「多文化共生の不備」という構造的な問題や、それらから発生する諸課題に対し、先端的な技術や住民の情報リテラシー向上支援を行うことで、生活利便性の向上、高齢化・人口減に対応したまちづくりを行い、「持続可能な地域社会の実現」を目指すものである 1. デジタルデバйд解消調査事業 小田地区及び宝陽台地区の高齢者等に対するスマートフォン等の機器の貸与、スマホアドバイザーによる使用方法の指導等を行い、スマートフォン等の機器の使用可能者を増加させるとともに、特に効果的なデバイスの種類、対象となる年代、地域特性の情報を収集する。 2. つくば市ポータルアプリ開発・改修 行政情報等の配信や行政サービス、先端的サービスを集約し、そこから申請や利用をワンストップでアクセス可能とするインターフェースとしてつくば市ポータルアプリを整備する。 3. パーソナルモビリティシェアリング 自動走行を有するパーソナルモビリティを地区内シェアリングサービスとして導入し、自宅からバス停までの「ラストワンマイル」の移動の利便性を向上させる。 4. 移動スーパー等ロケーションシステム 買い物における負担が大きい郊外において、移動スーパーの現在地、到着時間、店舗在庫等の情報をスマートフォンで確認可能にし、買い物をスムーズに行うことができるようにする。また、医療機関、薬局、移動スーパーの連携により、遠隔診療後に処方薬を移動スーパーで受け取ることができるようにし、利便性を向上させる。 5. 荷物配送ロボット等による買い物の利便性向上 自動配送ロボットを活用し、希望のタイミングで荷物を受け取ることができるようにする。また、自動追従型荷物配送ロボットの活用により、荷物を持つことなく自宅まで変えることができる環境を整備する。	④	55,652,630	27,826,315	令和4年4月～令和9年3月	(仮称)つくば市ポータルアプリのインストール数(つくば市の人口に対する割合)	17	20,000	13,000	人(%)	65.0%	3	4.3	D	・ 移動スーパーの見える化は、当初予定の2ルートから3ルートに増えたため、1ルート分の対応が年度内に間に合わず運用開始を後ろ倒しとしたが、移動スーパー運航地域にてつくば市ポータルアプリ「つくスマ」への機能追加に伴う周知・広報活動を行ったことにより、移動スーパーの一か所当たりの月ごと平均利用者数は増加した。 ・ つくば市ポータルアプリ「つくスマ」へ追加した機能の運用開始が予定より遅延したためダウンロード数が伸びなかった。 ・ デジタルデバйд解消調査事業の参加者が78名と伸び悩んだため、スマホ教室へ派遣する大学生人数が減少した。	イ: 据置き	D
							スマートフォン教室へスマホアドバイザーとして大学生が派遣された人数	0	16	6	人	37.5%	0					

交付金事業に付随する重要業績評価指標(KPI)の評価総括表【デジタル田園都市国家構想交付金】

交付金タイプ	事業名	事業の概要・目的	シートNo.	R4年度実績額(円)	R4年度国費充当額(円)	事業期間	KPI	従前値	R4目標値	R4実績値	(単位)	達成度	達成度評点	評点平均	KPI進捗評価	R4年度実施内容(特記事項)	特記事項評価	総合評価
									【対前年度増加分】									
地方創生拠点整備タイプ	旧筑波東中学校への自転車拠点及びジオパーク中核拠点整備	<p>旧筑波東中学校のリノベーション工事を実施し、自転車拠点施設及びジオパーク中核拠点施設を整備する。つくば市が公的施設として運営することで、市街地の機能が失われつつあるという課題を初め各種の課題を解決するとともに、旧筑波町エリアを中心とした地域振興を図り、ひいては近隣自治体を含めた広域での地域振興を目指す。</p> <p>①自転車拠点施設 つくば霞ヶ浦りんりんロード沿いに自転車拠点を整備することで、サイクリストの利便性向上と共に、サイクリストが筑波町エリアを通過点とせずに足を止め、消費活動を行うきっかけを作る。また、レンタサイクル事業を活用し、サイクリング用自転車を所有していないファミリー層等を筑波山周辺の飲食店や観光スポット等へ誘導する。</p> <p>②ジオパーク中核拠点施設 展示物やツアー等のプログラムを通して地域資源の価値を広め、地域の魅力度向上を図るとともに、地域の方々や子供たちがその価値や魅力を知ること、地域に誇りを持ち、住み続け、活動したいという気持ち(シビックプライド)の醸成に繋げる。また、筑波山地域ジオパークエリア内の物産品の販売及びPRの実施を予定しており、定期的な物産販売イベントや物産品を絡めたツアーを開催することで、産業振興を図る。</p> <p>③駐車場 駐車場にパーク&amp;サイクルライド機能を持たせ、サイクリストによる周辺施設の駐車場占拠を解消するとともに、校舎内に休憩・シャワー機能を持たせ、つくば市がサイクリングの先着点となるよう誘導することで旧筑波町エリアへの新たな人流を作り出す。</p> <p>④BMXレーシングコース グラウンドにBMXレーシング用コースを整備し、練習用や大会開催用に有料で貸し出すことにより、練習時であれば長時間(宿泊を伴う)の練習が多いスポーツのため飲食や宿泊等の地域振興につながり、大会時であれば選手や関係者、観客等により筑波山周辺の宿泊施設への多量の需要が発生すると想定されるため、地域経済への大きな貢献につながる。</p>	⑤	350,630,025	175,315,012	令和4年4月～令和5年3月	(仮称)自転車拠点・筑波山地域ジオパーク中核拠点施設利用者数	0	0	0	人	未評価	未評価	未評価	未評価	<p>旧筑波東中学校のリノベーション工事を実施し、建物内装の改修及び駐車場整備を完了した。</p> <p>【ジオパーク中核拠点施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1階の展示スペースに設置する体験型の展示物や映像展示、実験装置等を検討し、地域の魅力を楽しむ学べる環境整備を進めた。</li> <li>・事務スペースとして、2階に事務室、会議室等を整備した。</li> </ul> <p>【自転車拠点施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模な大会の誘致が可能な国際自転車競技連合の大会開催基準に適合したBMXレーシングコースの造成工事を完了した。</li> <li>・サイクリストの利便性向上のため、校舎内に更衣室、シャワー室などを整備した。</li> </ul>	工:未評価	未評価
							筑波山地域ジオパーク中核拠点施設における認定ジオガイドの活動実績(ガイド実施延べ人)	0	0	0	人	未評価	未評価					
							BMXレーシングコース利用料収入	0	0	0	円	未評価	未評価					
デジタル実装タイプ	(仮称)つくば市ポータルアプリ整備事業	<p>行政情報等の配信やスマートシティサービスのインターフェースとして、令和4年4月にリリースした「(仮称)つくば市ポータルアプリ」に以下の機能を追加し、更なる住民の生活利便性や、市役所業務の効率化を図る。</p> <p>④デジタルID・市民レポート機能・機械翻訳機能の向上 オンライン上で厳密な本人確認を実現するデジタルIDを導入することで、よりの確かな情報提供や、アプリ上での行政関係手続等が可能となる。 住民からのレポート機能を追加することにより、住民と行政のコミュニケーションの円滑化や、市役所業務の効率化が可能となる。</p> <p>⑤インターネット投票・アンケートシステム 住民向け調査の回答や各サービスの評価を収集できる機能を整備する。 また、将来的にインターネット投票を実現することで、移動が困難な人・忙しい人でも投票可能となり、今まで取りこぼしていた可能性があった民意を反映した政策の実施につながる。</p> <p>⑥移動スーパーロケーションシステム・図書館カード機能 移動スーパーロケーション機能を整備することで、移動スーパーの位置情報や到着予定時間が見える化され、特に利用率が高い高齢者の買い物利便性向上につながる。 図書館カード機能を整備することにより、アプリ上で図書館カードが表示可能となり、利用者のカード忘れや紛失が減少するだけでなく、図書館受付業務の効率化を図ることができ、利用者の利便性向上に資する。</p>	⑥	37,180,000	18,590,000	令和4年4月～令和5年3月	(仮称)つくば市ポータルアプリの延べダウンロード数(つくば市の人口に対する割合)	0	20,000	13,000	人(%)	65.0%	3	0.8	E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポータルアプリへ追加した機能の運用開始が予定より遅延したためダウンロード数が伸びなかった。</li> <li>・アプリにアンケート機能は実装したが、運用開始は令和5年度となったため、具体的なアンケートを実施できなかった。なおメール等で頂いた意見としては、便利等の好意的な意見が大半だった。</li> <li>・アプリに市民レポート機能は実装したが、運用開始は令和5年度からのため、具体的なレポートが得られていない。(テスト環境では動作を確認済み)</li> <li>・図書館カードは令和5年3月に提供開始し、2週間で300程度のダウンロードと大幅に伸びた。</li> </ul>	イ:据置き	E
							アンケートシステムにより収集した意見を政策に反映させた件数	0	5	0	件/年	0.0%	0					
							(仮称)つくば市ポータルアプリの利用者満足度	0	70	0	%	0.0%	0					
							市民レポートの件数	0	200	0	件/年	0.0%	0					